

50周年を記念する日本とイギリスの行進をつなぐ連帯のシンボル オルダーストン行進旗をかかげよう！



1958年3月のイースターに、英ロンドンから核兵器工場があるオルダーストンに向けて平和行進がおこなわれました。同年6月には、日本ではじめて平和行進がとりくまれました。

ことは、イギリスと日本の平和行進50周年年です。3月におこなわれた英オルダーストン50周年平和行進に参加した日本原水協の代表団に英CNDのケイト・ハドソン議長から連帯旗が贈られました。

50周年の国民平和行進のすべてのコースにこの連帯旗をかかげ、イギリスの反核平和運動との連帯を示しましょう。

オルダーストン平和行進の歴史 【解説】

日本原水協発行・平和行進30周年記念パンフレット(1988年)より抜粋

ヨーロッパ反核運動の誕生 オルダーストン平和行進

原子兵器の絶対禁止を要求し、原子兵器を最初に使用する者を戦争犯罪人として扱うとした1950年のストックホルム・アピール署名運動は、全世界で5億人以上 日本は米軍の占領下でしたが645万の署名をあつめ、朝鮮戦争でのアメリカの核兵器使用をとどめる大きな力となりました。この署名運動の成果は、戦後平和運動の輝かしい伝統として、各国の運動にひきつがれました。

1954年ビキニ水爆実験による被災を期に、日本の原水爆禁止運動は3200万の署名をあつめ、1955年8月には第1回原水爆禁止世界大会がひらかれ、9月に日本原水協が結成されます。日本での国民運動の組織的出発にくらべて当時のヨーロッパでは、日本のような大規模な反核運動はまだすすんでいませんでした。

しかしその後、核軍拡競争がすすみイギリスは核戦力の増強をめざして、1957年に南太平洋のクリスマス島で一連の核実験をおこないます。またNATO諸国へのアメリカの核ミサイル配備が合意され、1956年西ドイツ軍の核装備が決定される状況のなかで、ヨーロッパでの反核・平和運動が新たな盛りあがりを示します。

イギリスにおいても核実験反対などの反核の行動が発展します。この運動のなかで1958年はじめに「核軍縮キャンペーン=CND」が結成され、その最初の行動として、哲学者バートランド・ラッセルを先頭にロンドンから核兵器製造工場のあるオルダーストン(ロンドン西方84キロ)へ行進をおこないました。

日本での国民平和行進がはじまった同じ年からおこなわれるようになったオルダーストン平和行進は、その後も毎年春におこなわれ、1960年には10万人が参加します。1963年以降中断のときもありますが、イギリスの平和運動の中心的行動としての役割をはたしてきました。1979年にはオルダーストンからファスレーン(原子力潜水艦基地)まで800キロのコースでおこなわれ、6月2日のファスレーンの終結集会には、被爆者をふくむ日本原水協の訪問遊説団が参加しました。